

参加者へのお知らせとお願い

■研究会参加者の皆様へ

1. 特別講演，シンポジウム，一般演題は，オンライン開催（ライブ）にて実施します。本オンライン開催は，Web 会議システム Zoom ミーティングを利用します。
それらの映像については，その後2週間オンデマンド配信いたします。ただし，演者よりオンデマンド配信不可との連絡があった講演についてはオンライン（ライブ）のみとなります。
2. 参加登録費（抄録集，発表論文集代を含む）
正会員（施設会員代表者含む） 7,000 円
その他 10,000 円 学生 無料
3. 参加登録手続
研究会参加登録は，ホームページからのオンライン登録のみとなります。研究会ホームページのサイドメニューに参加登録にリンクされている参加登録ページから手続きをお願いします。
参加費をお支払頂いた参加者個人に Zoom ミーティングへの認証登録通知の連絡が送付されますので，必ずご登録をお願いします。（登録をされませんと本研究会には参加できません）。
学生の方は，お名前を記載の上，学生証の写しを運営事務局（36hpm@cop-chita.com）まで E-mail にてご送付下さい。
4. お支払方法
支払方法はクレジットカードのみとなります。
参加登録後に自動配信されます「件名：【重要：要保存】第36回日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会 << 事前参加受付及びお支払いのご案内 >>」に沿って速やかに決済をお願いします。
VISA, MasterCard, AMEX のカードが取り扱い可能です。
5. 注意事項
オンラインでのクレジットカード決済，Zoom ミーティングへの認証登録を持って正式に参加登録完了となります。参加登録，決済完了時に自動配信されるメールが，一部のフリーアドレスにおきまして，迷惑メールに振り分けられているか，ご利用のメールサーバーの機能により，返信メールが届かない場合がございます（yahoo, hotmail, gmail の一部）。その場合は個別対応にて送付させていただきますので，大会事務局（36hpm@cop-chita.com）までご連絡下さい。
6. 領収書及び参加証明書
会期前にメール添付にてお送りしますので，ご自身にてプリントアウトをお願いします。

■会場内でのお願い

- (1) Zoom ミーティングルームに入りましたら「スピーカの音声をテストする」をクリックして，音声がかえるか，自分の声が聞こえているか，接続状態を確認してください。
- (2) Zoom 内での「名前」の表示を，「お名前_ご所属」に変更してください。
例) 水口潤_川島病院
本研究会は参加費をお支払された方のみにご参加頂くもので，お名前，ご所属の確認が取れない場合はご参加をお断りさせていただきます。ご協力の程宜しくお願い致します。
- (3) ご質問等がある場合は，ビデオ（カメラ）及びマイクを ON にして，座長にお伝えください。座長より指名されてからご質問ください。最初に所属と氏名を明らかにしてください。

(4) 公演中は音声が入らないよう、音声はミュートに設定してください。

■休憩室

雑談、お打ち合わせ等にご利用いただけます。お誘い合わせにご利用ください。休憩室に入りましたら、Zoomのブレイクアウトセッション機能を使って、個別のお部屋のご案内しますので、スタッフにお声かけ下さい。

■単位取得

本研究会参加により、下記の単位が取得出来ます。

日本透析医学会関連学術集会

参加により3単位を取得できます。ご希望の方は、大会期間中にログインページの左側サイドメニュー「日本透析医学会関連学術集会の専門医参加単位申請を希望する方」から、申請ページに入り、「申請を希望する」のボタンをクリックしてください。後日事務局より参加証明書をお送りします。

■座長・演者の方へ

●接続環境の準備

以下のものをご用意ください

1. 端末

インターネット接続が可能なPC、もしくはスマートフォン、タブレット

2. ネットワーク

安定したWiFi回線若しくは有線による接続が望ましいです。それほど高速でなくても問題ありませんが、途中で切れない回線が望ましいです。WiFiの場合は電波強度の大きいところでご接続ください。スマートフォンのテザリングでも十分対応可能ですが、通信量はかかりますので、速度制限にご注意ください。

3. スピーカ（聞く）

PCに備え付けのスピーカ、もしくは、ヘッドセット、イヤホン、外部接続スピーカ（マイク兼用のもの）
同じ部屋で2台のPCをZoomに接続すると、ハウリングが起こることがあります。ハウリングが起こった場合には、必ずマイクをミュートにしてご参加ください。

4. マイク（話す）

PCに備え付けのマイク、ヘッドセット、マイク付きイヤホン、外部接続マイク（スピーカ兼用のもの）
PCに備え付けのものでも通常問題ありませんが、ヘッドセットやマイクを使用するとより音声クリアに伝わります。

5. カメラ

パソコン内蔵カメラ、WEBカメラなど。

■座長の先生方へ

1. 担当セッションの開始10分前までには、発表会場にご入室ください。

なお、発表時間及び討論時間については、事前にお知らせしておりますが、接続が不安定などの状況がありましたら、臨機応変にご対応くださいますようお願い致します。

2. 各演者の口演時間および討論時間は厳守でお願い致します。

■演者の方へ

1. 発表時間

一般演題：口演7分 討論3分（前回優秀演題：口演12分 討論3分）

シンポジウム：発表+質疑 20分

2. 発表について

- ・Zoomを使った双方向でのオンライン（ライブ）でのご発表をお願いします。あらかじめ録音したスライドや動画をご提出いただく必要はありません。ただ、どうしても通信環境が不安定で、接続が心配な方は音声付きの動画をお送り頂ければ、運営側でそれを配信することも可能ですのでご相談ください。
- ・利益相反（COI）についての情報開示をお願い致します。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。

3. 発表方法

- ・Zoomにてご自身のPCの画面を共有してご発表頂きます。座長より指示がありましたら、画面共有して、発表を始めてください。画面共有に際には、使用するプレゼンテーション作成ソフトをあらかじめ立ち上げておく必要があります。
- ・発表修了後は、次の発表者が共有できるように、画面共有を解除してください。
- ・PC1台で発表される場合、PowerPointの発表者ツール機能を使用すると、発表者ビュー（メモ）側が送信されてしまいます。発表者ツール機能はオフにしてご発表下さい。PC1台で発表される場合はスライドショーではなく、閲覧での表示もお勧めです。
PC2台で2画面を使用して発表される場合は、発表者ツール機能の使用が可能ですが、共有する画面の設定にご注意ください。（Desktop2（発表画面が映される側）を共有画面にして設定してください。

■発表データ作成方法

1. タイマーを用意しますので、画面上にタイマーを表示した状態で（「ピン」、もしくは「ピンを固定）でタイマーを表示させて）ご発表下さい。
2. プレゼンテーション作成ソフトについての指定はありません。普段ご使用のソフトをお使いいただけます。画面共有時の表示方法についてはあらかじめご確認をお願いします。
3. 動画データも使用可能です。その際動画音声を使用する場合は、「コンピュータの音声を共有」をチェックしてご使用ください。ただし、お使いのPCのスペックや通信速度によっては、動画がスムーズに流れない可能性があります。

■発表準備（セッション開始前）

1. 担当セッションの開始10分前までに、WEB会場日程表のセッションにリンクをクリックし、発表会場（ミーティングルーム）にご入室ください。
2. Zoom ミーティングルームに入りましたら、「スピーカーとマイクの音声をテストする」をクリックして、音声が聞こえるか、自分の声が聞こえているか、接続状態を確認してください。
3. Zoom 内での「名前」の表示を、「お名前_ご所属」に変更してください。
例）水口潤_川島病院
4. スタッフにチャットで発表者であることをお伝えください。ブレイクアウトルームにて、順番に画面共有ができるかどうか、ご確認をいただきます。

■セッション発表後

1. 各セッション終了後、30分程度、ブレイクアウトルームで（別屋）で個別質問や総合討論の時間を取ります。スタッフがZoomのブレイクアウトルームに案内しますので、そちらでお話してください。
2. 時間までに話が終わらない場合は休憩室でお話しいただけます。スタッフが案内しますので、お知らせください。

■発表論文提出について

- ・発表論文（掲載用論文）は「腎と透析」（東京医学社）の投稿規定に即して作成し、後日、印刷した原稿とともにCD-R またはUSB 電子媒体を日本ハイパフォーマンス・メンブレン研究会事務局（徳島市）宛て郵送にてご提出ください。（大会事務局とお間違えない様お願い致します。）
- ・掲載漏れなど防ぐために、事務局以外（東京医学社）では一切受付できませんので、ご了承ください。
- ・提出期限は研究会開催年の4月末日といたします。
- ・研究会開催後に事務局より再度発表者様に上記内容「発表論文提出について」をメールにて案内致しますので、ご確認ください。
- ・4月末日までに提出がない発表者様に対しては事務局より確認のメールを送信致します。ただし、確認のみの案内であり、提出期限の延長などは一切認められません。
- ・郵送物（原稿とCD-R またはUSB 電子媒体）に不足がある場合はメールにて連絡致します。再提出なければ受理できませんので、ご了承ください。
- ・受理いたしました掲載用論文は発表者様へメール通知を行った後、事務局より東京医学社へお渡しし、校正などの取扱いについての責任を譲渡致します。

■情報交換会

座長の先生方と情報交換して頂く場として、Zoomのブレイクアウトルームを使った情報交換会を行います。飲み物などを飲みながら、ざっくばらんに情報交換をして頂ければ幸いです。（飲み物は各自でご用意ください。）

役員一覧

名誉会長

斎藤 明 (湘南東部総合病院)

理事長

水口 潤 (川島病院)

(以下 アイウエオ順)

顧問

秋澤 忠男 (東京腎疾患研究・情報センター)

秋葉 隆 (東京ネクスト内科・透析クリニック)

酒井 清孝 (早稲田大学)

佐中 孜 (江戸川病院)

鈴木 正司 (信楽園病院)

内藤 秀宗 (内藤医学研究所)

理事

川西 秀樹 (土谷総合病院)

武本 佳昭 (大阪市立大学)

友 雅司 (大分大学)

花房 規男 (東京女子医科大学)

深澤 瑞也 (山梨大学)

山下 明泰 (法政大学)

監事

衣笠 えり子 (昭和大学横浜市北部病院)

峰島 三千男 (帝京平成大学)

大会運営事務局

〒 456-0058 名古屋市熱田区六番 3-5-3 S-FORT 六番町 204

TEL : 052-265-9997 FAX : 052-308-5229

Email : 36hpm@cop-chita.com

事務局

〒 770-8548 徳島県徳島市北佐古 1 番町 1-39

社会医療法人 川島会 川島病院内

TEL : 088-631-1755 FAX : 050-3730-3065

URL : <http://www.hpm-net.jp> Email : information@hpm-net.jp

プログラム

第1日目 3月20日(土)

| | |
|-------------|-----------|
| 12:00~12:10 | 開会の辞 |
| 12:10~12:40 | 基礎研究 |
| 12:40~13:10 | 膜の性能評価 I |
| 13:10~13:50 | 膜の性能評価 II |
| 13:50~14:10 | 臨床評価 |
| 14:10~14:20 | 休憩 |
| 14:20~17:00 | シンポジウム |

12:00 ~ 12:10 開会の辞

理事長：水口 潤（川島病院）

12:10 ~ 12:40 基礎研究

座長：山本 健一郎（川崎医療福祉大学）

春原 隆司（ニプロ株式会社）

O-01. 血液透析中の尿素除去動態について 1-compartment model による解析精度を向上させるための検討

東京女子医科大学 臨床工学部¹⁾

東京女子医科大学 血液浄化療法科²⁾

東京女子医科大学 臨床工学科³⁾

東京女子医科大学 第4内科⁴⁾

○村上 淳¹⁾ 花房 規男²⁾ 市場 晋吾³⁾ 土谷 健²⁾ 新田 孝作⁴⁾

O-02. I-HDF 療法における間歇的な逆濾過補充が溶質除去性能の回復効果に与える影響

法政大学大学院 理工学研究科 応用化学専攻

○渡辺 誠也 木口 崇彦 山下 明泰

O-03. 両腎摘出ブタを用いた透析モデルの構築

旭化成メディカル株式会社 研究・事業開発本部¹⁾

宮崎大学 農学部附属動物病院研究室²⁾

宮崎大学 医学部血液・血管先端医療学講座³⁾

○梅野 寛¹⁾ 佐野 裕介¹⁾ 渡邊 厚¹⁾ 小泉 智徳¹⁾ 山本 集士^{2,3)} 鳥巢 至道²⁾ 藤元 昭一³⁾

12:40 ~ 13:10 膜の性能評価 I

座長：田岡 正宏（偕行会）

須賀田 徹（東レ・メディカル株式会社）

O-04. 長時間透析で低分子量蛋白の除去に適するのは、PES 膜と ATA 膜のどちらか

(医) 一陽会 横川クリニック 血液浄化部¹⁾

(医) 一陽会 横川クリニック 看護部²⁾

(医) 一陽会 原田病院 血液浄化部³⁾

(医) 一陽会 横川クリニック 医局⁴⁾

○木村 優之^{1,3)} 昌木 秀介¹⁾ 中村 直正²⁾ 齋藤 智子²⁾ 森田 直美³⁾ 本丸 忠生³⁾ 加藤 曜子⁴⁾

内藤 隆之⁴⁾

O-05. 蛋白質吸着に着目したPMMA膜性能評価

新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 臨床工学部門¹⁾

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎研究センター 腎・膠原病内科学²⁾

新潟大学医歯学総合病院 血液浄化療法部³⁾

新潟大学医歯学総合病院 腎膠原病内科学 医科学専攻⁴⁾

○宮内 大輔^{1,4)} 成田 一衛²⁾ 山本 卓³⁾ 西塔 毅¹⁾ 長谷川 進¹⁾ 近藤 友希¹⁾ 嶋貫 誠¹⁾
青野 崇宏¹⁾

O-06. CTA 膜を使用した血液浄化器の溶質除去特性

特定医療法人 あかね会 中島土谷クリニック¹⁾

土谷総合病院²⁾

○高 義尚¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 濱中 皓一¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 真島 菜々子¹⁾ 川西 秀樹²⁾
土谷 晋一郎^{1,2)}

13:10 ~ 13:50 膜の性能評価Ⅱ

座長：西田 隼人（山形大学病院）

中川 宜明（株式会社ジェイ・エム・エス）

O-07. FIX-210 U の前置換と後置換 OHDF での性能評価

（医）藍蒼会 しもかどクリニック

○下門 清志 小汀 祐子 森本 光士郎 山本 裕美 河野 真紀

O-08. 旭化成メディカル社製ヘモダイアフィルター ABH-22LA (ABH) の性能評価

医療法人 康仁会 西の京病院¹⁾

医療法人 康仁会 西の京病院 透析センター²⁾

○野口 幸¹⁾ 萩原 誠一郎¹⁾ 中川 美沙子¹⁾ 二神 徳明¹⁾ 山岡 みゆき²⁾ 高田 史門²⁾
吉岡 伸夫²⁾

O-09. ヘモダイアフィルタ性能評価～特定臨床研究の経験～

社会医療法人川島会 川島病院

○岡田 一義 道脇 宏行 森 浩章 中野 正史 井上 朋子 島 久登 田代 学 水口 潤

O-10. 特定臨床研究による ABH-22PA の性能評価

社会医療法人川島会 川島病院

○道脇 宏行 岡田 一義 森 浩章 中野 正史 井上 朋子 島 久登 田代 学 水口 潤

13:50 ~ 14:10 臨床評価

座長：長沼 俊秀（大阪市立大学）
富沢 成美（日機装株式会社）

O-11. 高齢患者における f-HdF を試みて

援腎会 すずきクリニック

○伊東 健 人見 友啓 鈴木 翔太 山岡 将陽 鈴木 一裕

O-12. β_2 -microglobulin の産生に影響を与える背景因子の調査

（社医）川島会 川島病院 臨床工学部¹⁾

腎臓科²⁾

○田中 悠作¹⁾ 宮本 貴教¹⁾ 道脇 宏行¹⁾ 田尾 知浩¹⁾ 岡田 一義²⁾ 水口 潤²⁾

14:10 ~ 14:20 休憩

14:20 ~ 17:00 シンポジウム

「血液浄化器の機能分類 2013 を再考する」

座長：友 雅司（大分大学）
峰島 三千男（帝京平成大学）

SY-01. 血液浄化器の機能分類と性能評価法：いままでの経緯と今後検討すべき課題

帝京平成大学

○峰島 三千男

SY-02. ダイアライザの in vitro 性能評価における $\alpha 1$ ミクログロブリンの代替物質の検討

北里大学

○小久保 謙一

SY-03. In vitro におけるヘモダイアフィルタの試験法の課題

MT JAPAN / 日機装株式会社

○大平 久英

SY-04. ハイパフォーマンスダイアライザの生体適合性と生命予後 ～膜材質の特徴から考察する～

日本大学

○阿部 雅紀

SY-05. Alb 漏出 / 血清 Alb 濃度と生命予後の関連性について

川島病院

○田代 学

プログラム

第2日目 3月21日(日)

| | |
|-------------|--------|
| 10:00~10:20 | HDF |
| 10:20~10:40 | その他 |
| 10:40~11:25 | 前回優秀演題 |
| 11:25~12:30 | 昼食 |
| 12:30~12:45 | 総会 |
| 12:45~13:45 | 講演 |
| 13:45~13:55 | 閉会の辞 |

10:00 ~ 10:20 HDF

座長：花房 規男（東京女子医科大学）

O-13. ニューラルネットワーク（NN）機械学習による HDF 治療の大分子除去率予測の試み

医療法人社団みやぎ清耀会 緑の里クリニック 臨床工学技士部¹⁾

医療法人社団みやぎ清耀会 緑の里クリニック 内科²⁾

東北医科薬科大学病院 総合診療科³⁾

一般社団法人 クラインシュタイン医工学パースペクティブ（KBEP）⁴⁾

社会医療法人川島会 川島病院 学術企画室⁵⁾

○佐藤 洋介¹⁾ 山口 美和¹⁾ 大槻 剛¹⁾ 石田 亜希²⁾ 宍戸 洋²⁾ 菅野 厚博³⁾

清水 秀和⁴⁾ 青木 昇⁴⁾ 金 成泰^{4,5)}

O-14. 各種 On-lineHDF にリクセルを併用した際の β 2MG の除去効率の比較

医療法人社団 平生会 宮本クリニック¹⁾

明石市立市民病院²⁾

○重松 武史¹⁾ 中村 拓生²⁾ 宮本 幹¹⁾ 西庵 良彦¹⁾ 宮本 孝¹⁾

10:20 ~ 10:40 その他

座長：小川 智也（埼玉医科大学）

是本 昌英（旭化成メディカル株式会社）

O-15. 血液透析患者における透析条件とイオン化 Mg 率についての検討

社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科¹⁾

臨床工学部²⁾

○田代 学¹⁾ 田中 悠作²⁾ 道脇 宏行²⁾ 島 久登¹⁾ 井上 朋子¹⁾ 川原 和彦¹⁾ 田尾 知浩²⁾

岡田 一義¹⁾ 水口 潤¹⁾

O-16. 高血流・長時間透析後に 3-メチルヒスチジン測定により体蛋白異化亢進と診断した 1 例

(医) 藍蒼会 しもかどクリニック

○下門 清志 小汀 祐子 森本 光太郎 山本 裕美 河野 真紀

10:40 ~ 11:25 前回優秀演題

座長：水口 潤（川島病院）

O-17. 逆濾過方式の I-HDF 療法における膜面積が溶質除去性能に与える影響

法政大学大学院 理工学研究科応用化学専攻

○渡辺 誠也 木口 崇彦 山下 明泰

O-18. リクセルを透析膜直後に接続することで生体適合性と除去効率は向上するか

医療法人社団 平生会 宮本クリニック¹⁾

明石市立市民病院²⁾

○重松 武史¹⁾ 中村 拓生²⁾ 上村 健登¹⁾ 西庵 良彦¹⁾ 宮本 孝¹⁾

O-19. FIX-E を用いた間歇補液プログラムの有用性（続報）

（医）援腎会すずきクリニック

○入谷 麻祐子 人見 友啓 鈴木 翔太 鈴木 一裕

11:25 ~ 12:30 休憩

12:30 ~ 12:45 総会

12:45 ~ 13:45 講演

司会：齊藤 明（湘南東部総合病院）

血液浄化治療におけるラジカルアクセプター α 1-microglobulin (α 1-m) 除去の意義

社会医療法人川島会 川島病院 学術企画室

○金 成泰

13:45 ~ 13:55 閉会の辞